

## 2026 年度新任役員候補者一覧

任期は 2028 年度 3 月開催の定時社員総会最終時まで

## 理事

## 篠田 裕之 (東京大学)

1988 年東京大学工学部物理工学科卒業、1990 年同大学院計数工学修士課程修了後、同大助手に就任。1995 年博士 (工学) 取得し、東京農工大学講師・助教授を歴任。1999～2000 年米国 UC バークレー客員研究員を経て、2000 年東京大学工学系研究科助教授、2001 年より情報理工学系研究科助教授、2012 年教授に就任、2013 年より現職。

教育面では大学院でハプティクス、学部で回路学の授業を担当。研究は触覚インタフェースを中心に、人間の触覚と行動・感情との関係を解明し、触覚刺激によって生活・行動を支援するシステムの構築を目指す。

SICE では和文論文集担当理事 (2008～09 年)、50 周年記念事業実行委員会委員 (2010～11 年)、SI 部門触覚部会主査 (2010～11 年) を務め、2011～12 年には英文論文集 Associate Editor として国際的に貢献している。

## 高井 重昌 (大阪大学)

1989 年神戸大学工学部卒業、1991 年同大学院修士課程修了。1992 年大阪大学助手、1995 年博士 (工学) 取得。1998 年和歌山大学講師、1999 年助教授を経て、2004 年京都工芸繊維大学助教授、2007 年同大准教授。2009 年大阪大学大学院工学研究科教授に就任し、2020 年から電気電子情報通信工学専攻を担当、2021 年より総長補佐、2025 年より研究科役員を務める。

研究分野は離散事象やハイブリッドシステムの解析・制御・検証。

IEEE、電子情報通信学会、計測自動制御学会などの会員、本会では SICE2018 の Program Chair、2022 年より英文論文集 JCMSI の Chief in Editor などを歴任。

## 牧野 泰才 (東京大学)

2002 年東京大学工学部計数工学科卒業、2004 年同大学院システム情報学専攻修士課程、2007 年同博士課程を修了。博士 (情報理工学)。同専攻にて学術振興会特別研究員、特任研究員を経て、2009 年より慶應義塾大学 環境共生・安全システムデザイン教育研究センター特任助教授。2012 年同特任講師。2013 年 10 月より東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻講師、2014 年同大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻講師を経て、2017 年より現職。同大学工学部計数工学科、同大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻兼任。

教育面では学部で回路学の講義を担当し、2021 年に工学部の Best Teaching Award を受賞 (毎年学科から 1 件選出) している。大学院ではヒューマンマシンシステムについての講義を担当。研究としては、触覚を介したインタフェースの研究や、超音波を利用した軽量物体の遠隔操作、人の身体動作を利用した行動の予測などの研究に従事。

SICE では、和文論文集委員会委員 (2009～2010)、システムインテグレーション部門触覚部会の幹事 (2016～2018)、副査 (2020～2021)、主査 (2022～2023) を歴任。計測自動制御学会 センシングフォーラム運営委員 (2015～) も務め、2022 年第 39 回センシングフォーラム大会長。SICE ポストコロナ未来社会ワーキンググループ 委員 (2020) として、第 3 回ワークショップ「コロナ時代の VR」を開催するなど、SI 部門、計測部門において広く活動している。

## 青木 純 (横河電機 (株))

2006 年東北大学大学院工学研究科機械電子工学専攻修了、博士 (工学)。2006 年横河電機株式会社に入社、研究開発部門でプラント操業の最適化に関する技術開発、2024 年より横河デジタル株式会社にて、AI を用いたプラント操業の課題解決に従事。

予測技術や最適化のためのデータ駆動モデリング技術の開発と複数プラントでの技術の実証。2020 年度 SICE 制御部門制御技術部会副主査、2021 年度同主査。2020～21 年度制御部門運営委員。MSCS2021 プログラム委員。2020～21、24～25 年度 SICE AC Associate Editor、2021～23 年度 SICE 産業応用部門大会にて、産業応用部門と制御部門の合同 OS を共同企画。

## 小林 孝一 (北海道大学)

2000 年法政大学大学院工学研究科修士課程修了。2000～2004 年新日本製鐵 (株) 勤務。2007 年東京工業大学博士後期課程修了。2007～2015 年北陸先端科学技術大学院大学助教、2015～2022 年北海道大学准教授、2023 年同教授となり、現在に至る。

システム制御理論とその応用を専門として研究活動を行っている。SICE 離散事象システム部会 幹事・副主査、IEICE 高信頼制御通信研究専門委員会 幹事・副委員長、IEICE システム数値と応用研究専門委員会 幹事、IEEE 北海道支部 会計幹事、総務企画幹事、IEEE Sapporo Section Secretary/Treasurer。

## 林 直樹 (大阪大学)

2011 年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。同京都大学大学院情報学研究所研究員、2012 年大阪大学大学院工学研究科助教、2020 年大阪大学大学院基礎工学研究科准教授となり現在に至る。協調制御、分散最適化などの研究に従事。システム制御情報学会、SICE、電子情報通信学会、IEEE の会員。博士 (工学)。

2024 年～SICE JCMSI 幹事。2024 年～SICE 制御部門 広報委員。2020 年～IFAC Technical Committees 5.4 Large Scale Complex Systems, Member、2025 年 SICE FES 2025 Publication Chair、2023 MSCS2023 幹事、2022～2023 年 SICE JCMSI Associate Editor。

## 梅谷 智弘 (甲南大学)

1999 年大阪大学基礎工学部システム工学科卒業、2004 年大阪大学大学院基礎工学研究科システム人間系専攻博士後期課程修了、博士 (工学)。2004 年大阪大学大学院基礎工学研究科特任研究員、2005 年名古屋市立大学大学院芸術工学研究科助手、2007 年同助教、2008 年甲南大学知能情報学部講師、2012 年同准教授、2023 年同教授となり現在に至る。

専門分野は、ロボット工学およびシステムインテグレーション、特に空間知能化の研究活動に従事している。SICE での主な活動は以下の通り。2020 年 SI 部門会計幹事補、2021 年部門会計副幹事、2022 年会計幹事、2023 年会計幹事アドバイザー、2021～2022 年会誌出版委員 (2021 年度 SI 小委員会幹事)、2022～2023 年 SICE Annual Conference Associate Editor。2023 年～代議員。また、2018 年第 19 回 SI 部門講演会実行委員、2027 年 SICE/IEEE International Symposium on System Integration プログラム委員長を担当。

## 半田 久志 (近畿大学)

1998年京都大学大学院工学研究科博士後期課程精密工学専攻中退、同年岡山大学工学部助手(2007年より大学院自然科学研究科助教)、2012年近畿大学理工学部情報学科准教授、2019年同教授、2022年より近畿大学情報学部教授。京都大学博士(情報学)。

2015年IEEE CEC Workshop Chair、2018年ACM SIGEVO GECCO Local Chair、2024年IEEE WCCI On-Line Conference Chair。SICEでは、2009年から2011年知能工学部会幹事、2014年システム工学部会主査、2014年から2015年国際委員会委員、2018年関西支部講習会委員会委員長、2019年システム・情報部門部門長。その他の学会では、2023年から2024年電気学会電子・システム・情報部門役員、2013年から2016年、2021年から2024年進化解算学会理事。

## 岡部 基彦 ((株)東芝)

京都大学工学部機械学科を1998年3月に卒業し、同年4月(株)東芝入社。現在、(株)東芝で勤務。一般産業や社会インフラ、電力などの計装制御システムの分野で、産業用コントローラの製品開発に従事。

IEC/SC65A/WG4(EMC Requirements) エキスパート(2011年～)、JEMIMA 国際標準化活動奨励賞(2019年)、SICE 新製品開発賞 ユニファイドコントローラ Vm シリーズ typeS (開発責任者)(2021年)、SICE 代議員(2025年～)。

## 中村 壮亮 (法政大学)

2005年東京大学工学部電気工学科卒業。2007年同修士課程修了。株式会社エリジオンを経て、2012年同博士課程修了。2012年中央大学助教、2016年法政大学理工学部電気電子工学科専任講師、2018年同准教授、2023年同教授、現在に至る。人間支援ロボット、自律移動ロボット、人間拡張、ワイヤレス電力伝送を用いた電力インフラなどの研究に従事。博士(工学)。SICE、日本ロボット学会、電気学会、日本機械学会、IEEEなどの会員。

## 衣笠 哲也 (近畿大学)

1999年3月大阪府立大学大学院工学専攻博士後期課程修了。1999年4月～2002年3月津山工業高等専門学校電子制御工学科

助手、2002年4月～2025年3月岡山理科大学工学部機械システム工学科講師、准教授、教授を経て2025年4月から近畿大学工学部ロボティクス学科教授となり現在に至る。

災害対応ロボット、生物規範型ロボットなどの研究に従事。

2016年12月～現在一般社団法人アール・アンド・アールコミュニティ理事、2024～2025年SICE SI 部門技術委員長、2024～2025年World Robot Summit (WRS) 過酷環境チャレンジ競技検討委員など。

---

## 監 事

### 島貫 洋 (元(株)東芝)

1973年山形大学工学部大学院工学研究科修士課程(電気工学専攻)修了、同年(株)北辰電機製作所入社。1983年(株)東芝入社、電気・計装プロダクトマーケティング部主幹。主として、制御用コンピュータ、制御用ネットワークおよびCIE統合制御システムの開発、営業技術ならびに商品企画業務に従事。1990年よりフィールドパス国際標準化委員会活動。IFC実証試験委員会：日本の主査。電気学会、ISAの会員。

1998～1999年度 監事、2000～2005年度 評議員、2014年度～代議員、2006年1月～2013年3月 事務局長。

### 小倉 秀樹 (産業技術総合研究所)

2000年3月に筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。同年4月に計量研究所に所属し、熱電対標準の確立に関する研究に従事。2001年4月より産業技術総合研究所にて同研究に従事。2007年2月より1年4か月間、フランスの国家計量標準機関(LNE)にて招聘研究員。2012年5月より3か月間、スウェーデンの国家計量標準機関(SP)にて招聘研究員。2021年4月、物理計測標準研究部門温度標準研究グループ長に就任。

2013～2014年 SICE 計測部門温度計測部会 運営委員、2017年～現在 アジア太平洋計量計画測温技術委員会(APMP/TCT) 委員、2019年～現在 産業技術連携推進会議知的基盤部会計測分科会 温度・熱研究会 幹事(2023年～現在 研究会長)、2023年～現在 一般社団法人日本計量機器工業連合会温度計測・熱物性研究会 委員。